

関わり遊び

2014.2.25 福岡セラピスト勉強会

1. 身体を使った遊び

「身体を使った遊び」とは、大人の助けを必要とする、単純な感覚的な喜びをもたらす身体活動のこと。例えばおうまさんごっこ。

セラピー初日からでも始めてよい。あるいは初期課題（マッチング、動作模倣、音声指示）がある程度軌道に乗った頃から開始する。

セラピーの時間をある程度取って、あるいはそれ以外の日常生活の時間に行なう。

最初は子どもを楽しませるだけだが、ある程度したら、今度はその機会を利用して目合わせなどの社会的行動を求める。

<身体遊びの例>

- ・高い高い
- ・おうまさんごっこ
- ・ふとんに乗せて引っ張る
- ・ふとん（シーツ）にくるんでブランブラン
- ・シーソー（ぎっこんばったん）
- ・おすもうごっこ
- ・いないいないばあ

布をおとながかぶって「いないいない」という。「バー」で子どもが引っ張る

逆に子どもにシーツをかぶせて、「どこかな、どこかな」見つけてあげる

- ・寝かせて足を引っ張る。蛇行させる
- ・カンガルーの赤ちゃん

ひざにのせておいて、「カンガルーの赤ちゃん、飛び出すぞ。お母さんのおなかから飛び出すぞ。

5, 4, 3, 2, 1」で飛ばせる。

- ・高いところから、両腕を持ってジャンプ。
- ・宙返り
- ・トンネルくぐり

大人が四つん這いになって、その下をくぐらせる。途中でわざと崩落したりする。

- ・一緒に床をごろごろ
途中で上に乗って「重い」
- ・人間のり巻き
- ・一緒に走る
引っ張って速く走らせてあげる

<目合わせとの関連>

遊びを中断して、目が合ったらまたやってみる。これを繰り返す。

2. おもちゃ遊び

男の子はまず乗り物から。

小さな車二台で、

- ・前後に動かす
- ・ジャンプ、
- ・物の周囲をターン、
- ・器に入れる、
- ・車を飛行機みたいに飛ばす
- ・机から落とす
- ・坂を下らせる
- ・手で踏切を作る

女の子は動物フィギュアか人形を使って

- ・歩かせる
- ・物を食べさせる
- ・おわんに入れてお風呂
- ・乗り物に乗せる
- ・「ねんね」でおふとんに寝かせる
- ・なでなで
- ・ほっぺにチュ
- ・ギュー
- ・あやす

人形と乗り物

「乗せて」「いいよ」で乗せてあげる。

「おろしてください」「ありがとう」

初期のおままごと

食べ物を切って「どうぞ」食べるまねして「おいしかった。ごちそうさま」→交代

3. やり返し・役割交代のある遊び

- ・ボールのやり取り
- ・追いかっこ
- ・撃ち合い

4. ごっこ遊び

- ・お医者さんごっこ

- ・お買い物のごっこ